

福祉バスの試行 具体的な内容は

乙津 豊彦 議員

質問 福祉バス運行の事業主体はどこか。また、現在社会福祉協議会が運行している老人福祉センター市内循環バスや民間バスとの関係は。

市長 福祉バスとして高齢者等交通弱者のため、市内福祉施設等の利用者の送迎を目的にバスを試行運行するもので、福生コース、熊川コースの2路線の各コース毎時1便で、指定管理者委託とし、運行許可が得られれば5月からの運行を考えており、民間バスの大幅減便の対策として要

望の多い福生病院への利用も考慮する。まずは試行運行した上でいろいろと御意見も伺っていききたい。



▲老人福祉バス乗車風景

チャレンジショップ支援事業で市内活性化を

堀 雄一郎 議員

質問 市内活性化、空き店舗対策として、優れた出店プランを募って、起業家に出店時の改装費や、一定期間賃料助成をする「チャレンジショップ支援事業」があるが、市の考えを伺いたい。

市長 市民生活を守るうえで地域商店街の役割は、重要と認識している。空き店舗対策としては、レンタルショップとして貸出す方法や新規開店希望者に家賃等の一部を補助を行うなどの他市の商店街の事例があるので、

それらの情報収集や商店街への情報提供など当市にあった空き店舗対策を進めていきたい。



▲相模原市のチャレンジショップ (コーヒー豆店)

「片倉跡地」の歴史・文化的景観で地域活性化を

杉山 行男 議員

質問 「片倉跡地」は明治時代から製糸・自転車等企業が地域に大きな影響を与えた歴史を持ち、日本の原風景も残され、中を流れる熊川分水の石垣等史跡、景観は次世代に引き継ぎたい貴重な財産であるが、保全等も含め1カ月に1回でも、地域住民等が中に入ることはできないか。

市長 以前、跡地内をボランティアで管理できないかと都に確認したが、管理上の問題で一般には開放できないとの回答であったが、熊川分水を

現状のまま残し、景観にも配慮した計画作成を都に要望する必要がある、別の形での使用も模索していきたい。



▲片倉跡地の熊川分水

市長選等開票事務迅速化への取り組みは

末次 和夫 議員

質問 開票事務担当職員の公募の考えはないか。平成12年と20年の担当職員数、開票の予定人件費等はどうか。開票時間の目標タイムは設定できないか。また、開票事務の改良・改善は。

選管事務局長 担当職員は、従来どおり選管事務局で選出したい。市長選の開票従事者は12年が105人で本年は80人であり、投・開票の人件費は12年が約827万円と本年は約723万円の予定で、極力時間短縮に

努めたい。また開票所のテーブルの配置や職員の動きに無駄のないような工夫をしていきたい。



▲市長選の横断幕

平成20年度予算編成 施策内容は

大野 聡 議員

質問 予算規模は201億9300万円で対前年度比10.6%減となり、身の丈にあった予算編成だと思うが、主な新規事業やレベルアップ事業、廃止事業などについてスクラップアンドビルドの考え方、具体的な施策内容を伺いたい。

市長 新規事業は福祉センターのエコライトハウス事業、LAS-Eの導入、福祉バスの試行運転、中学校1年生の体験学習授業などで、レベルアップ事業は妊婦健康診査の公

費負担拡充、廃止事業はひとり親家庭休養ホーム利用宿泊助成事業などである。



▲体験学習授業予定の八ヶ岳自然の家

子育て支援策 妊婦の無料健診の拡大を

青海 俊伯 議員

質問 国は子育て支援策の中で妊婦健康診査の公費負担について、妊婦が受けるべき健診回数は、妊娠から分娩まで14回程度であり、経済的理由などで受診をあきらめることのないように、5回程度の公費負担による妊婦健康診査への取り組みを求めている。市の対応を伺いたい。

市長 現在、妊婦健康診査を2回、出産予定日が現在35歳以上の妊婦に超音波検査1回を公費負担している。妊婦健診の重要性などから、3回を

上乗せした5回を4月から実施したい。856万7000円ほどを再編交付金で措置していきたい。



▲福生病院産婦人科診察室

環境マネジメントシステム LAS-Eとは

清水 義朋 議員

質問 環境マネジメントシステムLAS-Eとはどういうものか。ISO14000番シリーズではなくLAS-Eに至った背景は。また導入の効果は。

市長 環境自治体スタンダードの通称で、紙や電気などの使用量の削減目標を設定し、市民が監査をして結果を公表するなど市民自治を環境面から実現するものである。ISOは企業の環境配慮指標で経費もかかることからLAS-Eに変更している。

市民との協働が意識改革につながり、地域、家庭への波及効果が期待できると思う。



▲LAS-Eの冊子